

## 令和元年度 第1回 津田診療所 健康教室

～住みなれた町で元気に明るく過ごすために～



テーマ 『**ビタミンDが欠乏しています!**』  
～骨折やがんと関係しています!～

講師 津田診療所  
整形外科医師 **山下 義則先生**

開催日 **10月17日(木)**  
午後2時～ 1時間程度

会場 **津田診療所 リハビリテーション室**  
津田町津田1673番地1

【問】津田診療所事務局 ☎(0879)23-7122

参加は無料です!予約等は不要です!  
お気軽にお越しください!!



国道11号線沿い  
西側に看板があり  
ます!



## 第18回さぬき市 美術展覧会作品募集

会 期 第1期 令和2年1月22日(水)～2月2日(日)  
部門 彫刻、工芸、写真  
第2期 令和2年2月5日(水)～2月16日(日)  
部門 書  
第3期 令和2年2月19日(水)～3月1日(日)  
部門 日本画、洋画、グラフィックデザイン  
※月曜日は、休館日

会 場 21世紀館さんがわ

出 品 料 2,000円(高校生無料)

出品点数 各種目一人1点

募集期間 12月6日(金)～12月8日(日)

申込場所 21世紀館さんがわ、生涯学習課  
申込書は21世紀館さんがわ、生涯学習課、各公民館にあります。  
また、21世紀館さんがわホームページよりダウンロードできます。

※作品展示は、主催者に一任してください。

【問】生涯学習課 ☎(0879)42-3107

### 少年育成センターだよ

「かしこい じかく」

子育ての話でよく耳にします。怒ってはいけません。叱ることが大切です。『怒る』は感情で、『叱る』は指導なのです。毅然とした態度で叱ることは、時として必要です。そこで、「子ども法学者 安藤 博氏」が書かれた記事を紹介しましょう。

**手**  
手は不思議  
にぎりしめれば  
かたいこぶし  
開けばやさしくなる  
手をにぎりしめれば  
心はかたくちぢこまる  
手を開けば  
心も開く  
手は心

心と身体は密接です。感情は動作・行動に表れます。緊張や怒りはグーのこぶしになり、パーに開くと心は解き放たれます。これを示唆する詩が、小学六年生の男児が作った上記の詩です。(注1) この詩は、怒りとその対応について、私たち大人にヒントを与えてくれます。子どもは、間違いをしながら適切に正されて育っていきます。ほめることと叱ることのメリハリの中で、育ちます。叱る基本姿勢は、相手の目をしっかりと見て、声を低くし、真剣さを伝えます。



叱る対象は大切なことだけに絞ります。

【か】家庭のきまり(親子、家庭で作った重要なルールを守らないとき)

【し】社会のきまり(善悪にかかわることをしたとき)

【こ】心を傷つける(人の心をきずつけたり、名誉を侵害したりしたとき)

【い】命にかかわるとき(他者の命に危害を加えること。自分の命についても次は此り方のコツです。)

【じ】人格は叱らず、行為を叱る(行為の背後にある感情は受け止めても、許されない行為は毅然として否定する。過ちは乗り越えられるから、その子の存在と人格は非難しない。)

【か】簡潔に(そのときその場で、短く本気で叱る。だかららねちねちはダメ。気迫は子どもに伝わる。)

【く】クールダウンして(かっとして怒りに身を任せると不測の事態を招きかねないし、反感だけが残る。)

叱るときは、怒りで力が入ったこぶしをバツと開きます。すると、怒りが解放されます。「手」の詩を思い起こしてください。(注2)

(注1) 青い窓の会『おひさまのしずく』(WAVE出版/2013年)

(注2) 週刊教育資料『教育の危機管理』(2009年6月17日号)

『ときどきね なごもらわすい きゅつこつ』

(青少年健全育成標語 平成三十年度 最優秀賞)

叱るべきところでは、愛情込めて叱る。でも叱った後は、きゅつと抱きしめてください。子どもたちは、きゅつと応えてくれることでしょう。

★少年に関する相談・情報は

さぬき市少年育成センター ☎(0879)42-1012  
少年相談電話 ☎(0879)42-5535